

第10回松本市西部地域公共交通協議会の開催結果について

1 開催日時

平成22年1月18日（月）
14時30分～16時15分

2 場所

松本市役所 議員協議会室

3 出席者

松本市政策部長 中澤会長、信州大学 高瀬副会長、松本市建設部長 丸山委員（代理丸山建設課長）、国土交通省松本国道出張所 三木委員、松本建設事務所 米山委員、東日本旅客鉄道（株）長野支社 萩原委員、松本電鉄 惣洞委員、タクシー協議会 伊藤委員、島内地区町会連合会 河野委員、島立地区町会連合会 百瀬委員、今井地区町会連合会 梶原委員、笹賀地区町会連合会 太田委員、芳川地区町会連合会 窪田委員、新村地区町会連合会 山田委員、神林地区町会連合会 村上委員、和田地区町会連合会 北野委員、長野県交通政策課 小林課長（代理岡沢）松本地方事務所 竹淵委員（代理中村）
欠席 梓川地区町会連合会 塩原委員、中信地区校長会 唐澤委員、松本警察署 西澤委員、長野運輸支局 千村委員

4 会議事項

- ア 第9回開催結果について（原案どおり承認）
- イ コミュニティバス実証運行の利用状況及び評価・検証について（原案どおり承認）
- ウ 事後評価について（原案どおり承認）
- エ 利用促進案について（原案どおり承認）
- オ 第2回住民意見交換会の実施結果について（原案どおり承認）
- カ 第3回住民意見交換会の実施について（原案どおり承認）
- キ その他
 - （ア）次回協議会の開催について

5 会議で出された主な意見等

項目	意見等
コミュニティバス実証運行の利用状況及び評価・検証について	○島立地区の中心部を通過するルートにすれば利用が増える。 ○通学の利用状況はどうか。 ⇒始業時間に間に合わないなどの実態を把握しているので、松本大学に協力いただき分析したい。
事後評価について	○膨大な資料なので時間をかけて検討したい。 ⇒資料の事前送付について検討する。 ○地域の意見を取り入れる取組み、利用目標達成への努力が必要。 ⇒今回の評価・検証で使われない時間帯、地区の課題が明確になったので、これに基づき地区ごとの取組みを行う。

<p>利用促進案について (地区の取組み・意見)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○島内地区 地区の会議での利用PR、役員が率先して利用 ○新村地区 公民館だよりでの周知、買い物ツアー等の実施 ○神林地区 バスルートの地区内通過を希望 ○笹賀地区 回覧、公民館報による周知、地区での無料券配布を検討 ○芳川地区 地区の会議の折に促進策について検討 ○今井地区 D線2便が村井駅発になると、養護学校生徒の利用が可能になる ○和田地区 地区内において「なんでもトーク」という会議を行い、地域住民から意見を聞く ○島立地区 買い物と病院へ行く足が満たされれば地区の問題は解決する ○評価・検証の改善方針に効果が期待できるか。 ⇒意見交換会の結果からやれることを地道に行う。 ○実証運行により需要が顕在化した。健康促進などで活動の幅は広がる。車を使っている人をコミュニティバス利用へ転換させることへのアイデアをこの場で共有していくことが良い。
----------------------------------	---